

秋田県立大学 図書館だより



No. 9 2004.7

》》》》》》》》》 目 次 《《《《《《《《《

「図書」思い出すままとりとめもなく 学生部長 坂本 宏	1
インドの大学図書館 図書・情報委員会委員 榎木 鉄也	3
利用案内：オンラインジャーナルについて	4
利用案内：図書館利用のFAQ	4
資料探索法：特許情報を探す	6
図書館の現況	7
夏季休業期間中の貸出について	8



「図書」思い出すままとりとめもなく

学生部長 坂本 宏

(システム科学技術学部経営システム工学科教授)

私は子供の頃、本を読みふけた記憶がない。図書に関する私の最初の記憶は一冊の絵本である。なにしろ、戦中・戦後の紙すらろくにない時代のこともあったのだが、小学校に入る前に持っていたのはこの一冊しか思い出せない。その内容も時代を反映していて、戦時色の強いものであり、あまり興味が持てなかったように思う。そんな時代だったので、当時の子供は皆、外で野や山を駆け回って遊んでいた。しかし、

夕方になると跳んで家に帰って、当時普及し始めた真空管式のラジオから流れる「鐘の鳴る丘」、「三太物語」、「さくらんぼ大将」を食い入るようにして聞いた。また、新諸国物語「白鳥の騎士」、「笛吹童子」、「紅孔雀」など、物語は全て耳で聞いた。

小学校の高学年になった頃、当時売り出されていた物に「カバヤキャラメル」と言うのがあった。確か、10円で一箱買うことが出来た。当時

から明治とか森永とかグリコキャラメルもあったが、「カバヤキャラメル」だけを買った。そのキャラメルにはおまけのカードが入っていて、それを集めると「カバヤ文庫」が貰えるからだ。私の本との出会いはこの時からである。「トム・ソーヤの冒険」、「ロビン・フッドの冒険」、「レ・ミゼラブル」、「孫悟空」など夢中になって集めた。最近になって、「カバヤ文庫」は「林原グループ」のメセナ活動によるものであった事を、日本経済新聞の私の履歴書「林原健」を読んで知った。現在でも、多くのメセナ活動や企業活動を通して社会貢献を行っている「林原グループ」に拍手を送りたい。

私がようやく図書館に辿りついたのは高校生になってからである。確か、石油だったか石炭だったか、或いはその両者の違いだったかに興味をわいて、図書館で調べた時の事である。そこは、田舎の高校で、図書館と言うより図書室と呼ばれるほどの大きさであったが、次から次へとわいてくる疑問に対して、様々な辞典や本を辿る事によって次々と疑問が解決でき、大いに満足する事が出来た。そのときに図書館はなんと素晴らしい場所だと感じた。それ以来、私にとって、図書館は何か未知の事柄を調べる場所となった。大学生、院生、研究者となってからも何か疑問がわいた時、そして新しい研究に取り組む時、図書館に足が自然と向かうようになった。新しい発明をしようとする時もそうである。ただ頭で考えただけでは新しいものは生まれてこない。大発明家のエジソンは白熱電灯を発明する前に図書館へせっせと通い、調査内容をノートに書きとめ、新聞情報も含めたそれらの調査情報量はノート200冊にも及んだといわれている。偉大な発明もまずは良く調べるところから始まり、良く考え（左脳の働き）、そして何か関係無く遊んでいるときに（右脳の働き）、ふと新しい閃きが起る事が多いのである。

大学に入学して、理系の工学部を選んだことから、先ず理化学辞典（増訂版）を購入した。3年生となり専門課程に進学し、専門分野全般の知識がいつでも手元で得られるよう化学工学便覧（第3版）を購入した。また、新しい化学工学を勉強しようと考え、当時発行された新化学工学講座（全12巻）、引き続き出版された続

新化学工学講座（全6巻）も購入した。また、当時配本され始めた世界の名著を購入するなど、「カバヤ文庫」以来、自分で読みたい本は自分で集める癖がついた。卒業後、研究論文以外に頼まれて物を書く事がある。最初に依頼されたのが科学大辞典や石炭利用技術用語辞典であり、さらに新素材便覧、化学便覧応用化学編、廃棄物処理・再資源化技術ハンドブック、地球環境ハンドブック等と辞典・便覧類が多く、また、それらの内容も高校時代、最初に、図書館で調べた事と関連がある資源や環境に関するものである。今、あらためて考えてみると、図書館で体験した事が何か尾を引いているようで不思議な気がする。

市内に専門書を置いている書店がほとんどないため、気軽に専門書を手にして、気に入ったら購入するという機会に恵まれないのは残念である。だからと言って諸君は少しも嘆く事は無い。諸君は本学の図書館で、全国のどの書店よりも充実した専門分野の書籍を居ながらにして見ることができる。先生方が夫々の専門分野で、多くの近刊書の中から優れたものだけを常に選び揃えており、その内容は質・量共に他の大学の図書館に勝るとも劣る事は無い。今は、インターネットを利用すれば、多くの情報が自宅で、たちどころに得られる便利な世の中となったが、五感を働かせ感性を養う場所として図書館は不可欠である。本学の図書館は西に日本海、南に鳥海山を背景にし、随時素晴らしいスタッフに相談できるという恵まれた環境にある。この贅沢な空間の中で充実した時を刻み、豊かな人生を送って頂きたいと願っている。

インドの大学図書館

図書・情報委員会委員 榎木 蘭 鉄也

(総合科学教育研究センター助教授)

1991年8月、私はインドのハイドラバードのCentral Institute of English and Foreign Languages (以下、CIEFL) に留学しました。インド併合前、ハイドラバードは小さなムスリム国家(藩王国)でした。現在の人口は400万人程度で、IT産業で世界的に知られています。CIEFLは大学院の機能も備えた研究機関です。高名な言語学者が数多くおられ、その上図書館の蔵書もすばらしいと聞いたので、私は留学先に選んだのです。

CIEFLの図書館では、LibrarianのRamaiah先生が、貸し出し期間の延長や禁帯出の論文の持ち出しなど、私のためにいろいろな便宜を図ってくださいました。実は、私は留学以前から、Ramaiah先生の名前を存じ上げていました。それは、先生が私の専門のインド英語や言語学関係の文献目録を数多く出版されていたからです。

インドの大学のLibrarianは専門職として認知されていて、給料と待遇も大学教員と同等です。例えば、Librarianは個室の執務室を持ち、給料は教授と同等です。同じように、Deputy Librarianは助教授と同等、Assistant Librarianは専任講師と同等の扱いです(これらを以下ではLibrarianと総称します)。インドではLibrarianもサバティカル(研究休暇)を取得できるため、ほとんどのLibrarianが博士号保持者です。

多言語国家であるインドでは、出版物に用いられる言語の数も数十に及びます。学術書の多くは英語で書かれていますが、インドの言語で書かれているのも少なくありません。ですから、インドのLibrarianは英語に加えて、いくつかの言語に通じているのが普通です。インドのLibrarianの仕事は、研究や教育を支援するための司書業務だけではありません。所属大学や各部における学問分野の文献目録及び抄録の編集も重要な仕事です。文献目録及び抄録の編集

には、各学問分野の専門知識も必須です。そのこともあって、図書館学以外の分野の学位を取得するLibrarianが多いのです。インドの大学図書館に行けば、専門別の分厚くて詳しい文献目録や抄録を入手できます。これらは各大学で発行していることもあれば、出版社から販売されていることもあります。私は、常々、日本の大学でもこういうものがあればと考えてきました。

インドでは、生活必需品に比べて、学術書の値段が恐ろしく高いのが実情です。英語で書かれた書籍や外国から輸入した書籍は特に高額で、庶民には手が出ません。加えて、書籍の流通が未発達ですので、入手自体が困難な場合もあります。一般に、日本の大学教員は蔵書家ですが、インドの大学教員の蔵書は多くありません。大学教員でさえそうですから、学生には教科書さえも高く買えない人もいます。そういう学生のため、インドの大学図書館では教科書の貸し出しもしています。

日本は豊かで便利で恵まれているためか、人間の根源的な力が弱くなっている気がします。車に依存して普段歩かない人の足腰が衰えるように、テレビや漫画ばかり見て読書をしない人の読書力や文章力は衰えてきていると思います。実際、学生にも簡単でやさしい文章はこなせても、少し難解な文章にはお手上げの人が多いようです。読解力や読書力が弱いのは、読書量の少なさもありますが、骨のある文章に接する機会が少ないことも一因でしょう。日本では本や情報が容易かつ安価に入手できますが、それを活かしていない人が存外多いのではないのでしょうか。学生諸君には、時間がたっぷりある学生時代に、広く読書に親しみ、その一方で、骨のある文章にもどんどん挑戦してもらいたいと思います。

利用案内……オンラインジャーナルについて

今年5月より、秋田・本荘キャンパスで "SpringerLink" が利用可能となりました。

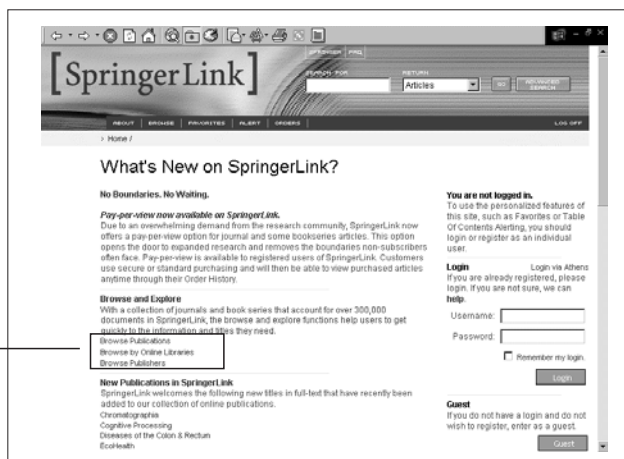
(URL <http://springerlink.com/>)

図書館ホームページの「オンラインジャーナル」にリンクがありますのでご利用下さい。

※本学で契約しているLibrary

- Computer Science (44誌)
- Engineering (52誌)
- Life Science (101誌)
- Mathematics (75誌)
- Medicine (164誌)

雑誌によって、複数のLibraryに収録されている場合があります。



"Browse by online libraries" をクリックすると、Libraryの一覧が表示されます。

※IPアドレス認証ですのでユーザーID、パスワードは必要ありません。

利用上の注意

- 秋田・本荘キャンパスの教職員と学生のみ利用することができます。
- 大量のダウンロードは行わないで下さい。
- ダウンロードしたファイルやプリントアウトした印刷物を第三者へ配布しないで下さい。

図書館利用のFAQ

図書館内に設置しているご意見箱に、昨年度は秋田・本荘合わせて26件のご意見が寄せられました。以下のとおり館内の設備や資料についての意見が多いようです。

分類	内容の一例
資料について (6件)	<ul style="list-style-type: none"> • DVDを増やして欲しい。 • 小説など普通の図書を増やして欲しい。
運用について (9件)	<ul style="list-style-type: none"> • 休日、夜間利用をこれからも続けて欲しい。 • 学外者が利用できるのが便利。
設備・機器について (9件)	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者用のパソコンを増やして欲しい。 • ABC (自動貸出返却装置) でエラーが起きる事がある。
その他 (2件)	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者のマナーが悪い。 • 情報リテラシー教育を実施してはどうか。

資料やパソコンの増設など運用上可能なものについては対応しました。

今後も図書館運営の参考とさせていただきますので、ご意見・ご要望をお寄せ下さい。

この他、カウンターへのお問い合わせの中から、図書館を利用する上で知っておいていただきたい項目をいくつかピックアップしてみました。

他にも不明な点がありましたらカウンター職員へご相談下さい。

○図書館の利用について

Q 1. 自分がこれまで借りた図書の履歴が知りたい。

A 1. 個人のプライバシー保護のため、図書館の図書は貸出記録が残らないようになっています。以前に借りた図書が知りたい場合は、内容やタイトル、著者名の一部が分かれば検索が可能ですので、カウンターへご相談下さい。

Q 2. 夜間や土日はコピー機が利用できないのはなぜですか。

A 2. 図書館資料の複写は、著作権法第31条「図書館等における複製」に基づいて行われています。コイン式セルフコピー機で複写する場合は、利用者が提出した申込書により、著作権法の範囲内の複写であることを職員が確認する必要があるため、カウンターが無人となる夜間や休日はコピー機を停止しています。

Q 3. 利用者の私語が多いので注意して欲しい。

A 3. カウンターの職員も注意するよう心がけていますが、グループで私語をする、飲食物を持ち込むなど、規程に反する利用が時折見受けられるのも事実です。利用環境の整備には利用者一人一人のマナー意識が必要です。皆さんのご協力をお願いいたします。

○資料について

Q 4. 探している資料が図書館にありません。

A 4. OPACで調べても見つからない資料は、他の図書館へ複写や貸出を申し込むことができます。手続はカウンター職員へご相談下さい。資料の書誌事項や所蔵機関を調査するには、NIIのWebcat、国立国会図書館のNDL-OPAC、図書館HPにリンクのある文献データベース等、インターネット上でフリーに検索できるツールが便利です。

Q 5. 小説など普通の本を入れて欲しい。

A 5. 図書館の図書、雑誌は学科ごとに専攻分野に応じて教員が選定したものです。大学図書館では基本的に教育・研究用の資料が中心となっていますが、一部小説などの図書も入っています。図書は購入リクエストを受け付けていますので、図書館に入れて欲しい資料がありましたらお申し込み下さい。内容を確認の上、検討いたします。

○その他

Q 6. 館内整理日や蔵書点検期間は何故休館するのですか？

A 6. 館内整理日（偶数月の末日）は、資料の移動や整理など開館中はできない作業を行っています。蔵書点検は、図書や雑誌の所在状況をシステム上のデータや図書原簿と突き合わせて確認する作業で「棚卸し」にあたるものです。資料管理上必要な作業ですので、ご理解とご協力をお願いします。

資料探索法……特許情報を探る

我が国では年間40万件以上の特許が出願され、10万件以上が登録されています。最新技術の情報や動向を知ることができる重要な技術文献である特許情報の検索ツールをご案内します。

特許情報の種類

特許情報は特許庁の発行する公報により公開されます。掲載されているのは番号、日付、発明者、出願人、技術的内容、図面などです。主要なものは次のとおりです。

- ・公開特許公報……特許庁の審査前の出願内容を公開した公報。出願日から1年6ヶ月後に発行される。
- ・特許公報……特許庁の実体審査後に発行される。出願後数年経過している。

特許情報の調査方法

1. インターネットで調べる

- 特許電子図書館 <http://www.ipdl.jpo.go.jp/homepg.ipdl>

特許庁が発行している産業財産権情報とその検索サービスを無料で提供。特許・実用新案・意匠・商標・審決の公報および関連情報が閲覧できる。

2. 関係機関で閲覧する

- 秋田県知的所有権センター（秋田県工業技術センター）

〒010-1623 秋田市新屋町字砂奴寄4-11 TEL018-862-3417

その他の関係機関

- 独立行政法人工業所有権総合情報館 <http://www.ncipi.go.jp/>

公報類の閲覧案内、開放特許の登録・検索サービスなど。

- 社団法人発明協会 <http://www.jiii.or.jp/>

- 日本弁理士会 <http://www.jpaa.or.jp/>

- 米国特許商標庁 <http://www.uspto.gov/>

- ヨーロッパ特許庁 <http://www.european-patent-office.org/index.en.php>

- 世界知的所有権機関（WIPO） <http://www.wipo.int/>

参考文献：『特許ハンドブック 研究開発 活かそう社会に』（特許庁，平成15年）

『産業財産権標準テキスト 特許編』（発明協会，平成15年）

《図書館所蔵の関係図書》 ※分類番号507.2の書架にあります。

『特許出願のてびき 第30版』特許庁編，発明協会，2001（507.23：To33）

『工業所有権法令集（産業財産権）第56版上・下巻』特許庁編，発明協会，2002（507.2：To33）

『知的財産権事典』半田正夫ほか編，丸善，2004（507.2：H29）

『技術者のための特許知識と活用の実際』野上邦五郎，日本経済新聞社，2003（507.23：N93）

『特許・意匠・商標の基礎知識』牧野利秋編，青林書院，2003（507.2：Ma35）

図書館の現況

平成15年度の各キャンパスの統計です。

★蔵書数（平成16年3月31日現在）

	図 書			雑 誌			視聴覚資料 (点)
	合計 (冊)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (種類)	和雑誌 (種類)	洋雑誌 (種類)	
秋田キャンパス	54,348	39,467	14,881	524	265	259	1,183
本荘キャンパス	53,600	42,763	10,837	626	275	351	1,293
短期大学部	46,071	40,141	5,930	554	480	74	864
木材高度加工研究所	7,033	6,425	608	32	14	18	66
合 計	161,052	128,796	32,256	1,736	1,034	702	3,406

★平成15年度 資料受入数

	図 書			雑 誌			視聴覚資料 (点)	新聞 (種類)
	合計 (冊)	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (種類)	和雑誌 (種類)	洋雑誌 (種類)		
秋田キャンパス	3,677	2,952	725	413	213	200	79	13
本荘キャンパス	2,089	1,830	259	426	246	180	45	13
短期大学部	586	529	57	84	60	24	57	8
木材高度加工研究所	335	298	37	32	14	18	7	14
合 計	6,687	5,609	1,078	955	533	422	188	48

★平成15年度 利用状況

	貸 出 冊 数			参考業務 合計 (件)	文献複写(館内)		入 館 者 数	
	合計 (冊)	職員 (冊)	学生 (冊)		件数 (件)	枚数 (枚)	総数 (人)	うち学外者 (人)
秋田キャンパス	10,461	1,958	8,503	224	1,629	—	58,130	42
本荘キャンパス	25,583	2,928	22,655	128	1,275	5,284	108,668	302
短期大学部	1,611	650	961	8	27	362	20,076	—
合 計	37,655	5,536	32,119	360	2,931	5,646	186,874	344

※入館者数は延べ人数

	文献複写(図書館間)		現物貸借(図書館間)		開館日数 (日)
	受付件数 (件)	依頼件数 (件)	貸出件数 (冊)	依頼件数 (冊)	
秋田キャンパス	42	1,965	34	67	359
本荘キャンパス	32	1,979	23	79	357
短期大学部	26	267	37	11	231
合 計	100	4,211	94	157	

夏季休業期間中の貸出について

夏季休業期間は8/1(日)～9/30(木)です。

期間中は開館時間および学生、院生への貸出冊数に変更となります。

	貸出冊数		貸出期間		
	通常期	休業期間中	図書/音声資料	逐次刊行物	逐次刊行物(最新号)
学 生	5冊まで	10冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内
院 生	10冊まで	15冊まで	2週間以内	3日以内	1日以内
教 職 員	15冊まで	15冊まで	1ヶ月以内	1週間以内	1日以内

*学生・院生は、7月16日(金)～9月23日(木)に貸出した図書、音声資料の返却期限日が10月7日(木)となります。

開館日案内

2004年7月							2004年8月							2004年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
25	26	27	28	29	30	31	29	30	31					26	27	28	29	30		

平日 7月 9:00～19:00 19:00～22:00(無人開館)
8～9月 9:00～17:00 17:00～22:00(無人開館)

土日祝日 7月 9:00～19:00(無人開館)
8～9月 9:00～17:00(無人開館)

*8月31日(火)は館内整理日のため、9:00～17:00閉館、
17:00～22:00無人開館となります。

秋田県立大学 図書館だより No.9 2004年7月発行

秋田県立大学 図書・情報センター <http://www.akita-pu.ac.jp/library/lib.html>

●秋田キャンパス

〒010-0195

秋田市下新城野字街道端西 241-7

TEL018-872-1561 FAX018-872-1674

E-mail:a_library@akita-pu.ac.jp

●本荘キャンパス

〒015-0055

本荘市土谷字海老ノ口 84-4

TEL0184-27-2049 FAX0184-27-2185

E-mail:h_library@akita-pu.ac.jp

*ご意見・ご要望等をお寄せください。